

## 社会資本の維持・管理

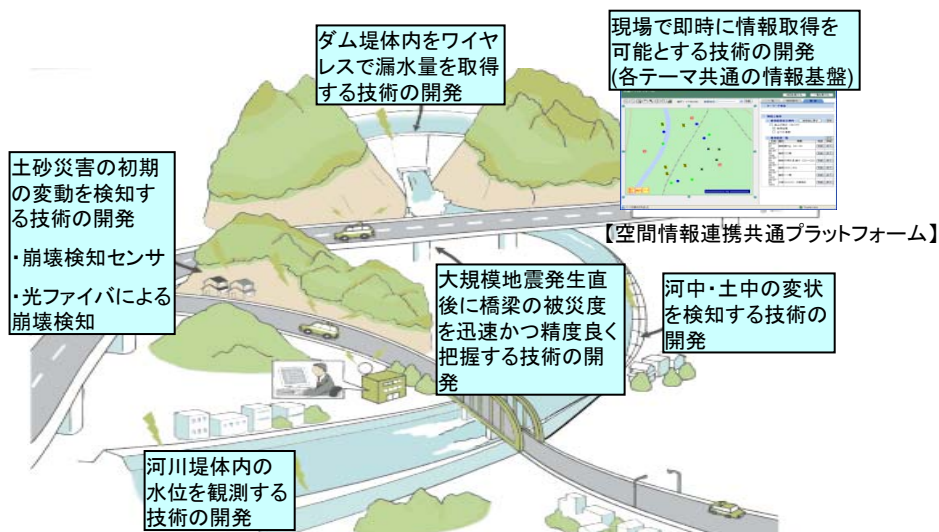
～通常の日視点検だけでは検知しにくい構造物の状況を迅速に把握し、適切に管理する技術の開発～

### 研究成果のポイント

通常の日視点検だけでは検知しにくい構造物の状況を調査するために、センサによる現象の把握、センサからの通信、収集したデータの処理などにICT 技術を活用し、平時・災害時における社会資本や周辺の自然の状態を迅速に把握し、適切に管理する技術を開発した。

日常管理の効率化、災害時点検の迅速化に資する各種センサ(土砂崩壊検知センサ、河川堤体内水位計、地震時橋梁モニタリングセンサ、ダム堤体内ワイヤレス漏水量計等)を開発し、現地でのテストを実施した。また、センサから収集した情報や当該施設に関する構造物等の概要情報を一元的に地図上に可視化する共通基盤として、空間情報連携共通プラットフォームを構築した。

本研究は、技術研究開発推進費による総合技術開発プロジェクト「社会資本の管理技術の開発」の成果であり、(独)土木研究所・国土技術政策総合研究所が中心となって実施した。



### 期待される効果、今後の展開

本研究の成果を広く活用し、普及させるためには、実用化段階のものは機器等の仕様、設置・運用等のガイドラインやマニュアル、ソフトウェアなどを公開し、国土交通省内はもとより自治体等の行政組織による現場での導入を図るとともに、民間企業に対しては優れた製品(安価、長寿命、計測性能向上など)の開発を促すものである。

また、本研究で取り組んだ先進的な要素技術は、他の様々な分野でも役立つ可能性があり、学会等において積極的に発表し、利活用を図るものである。